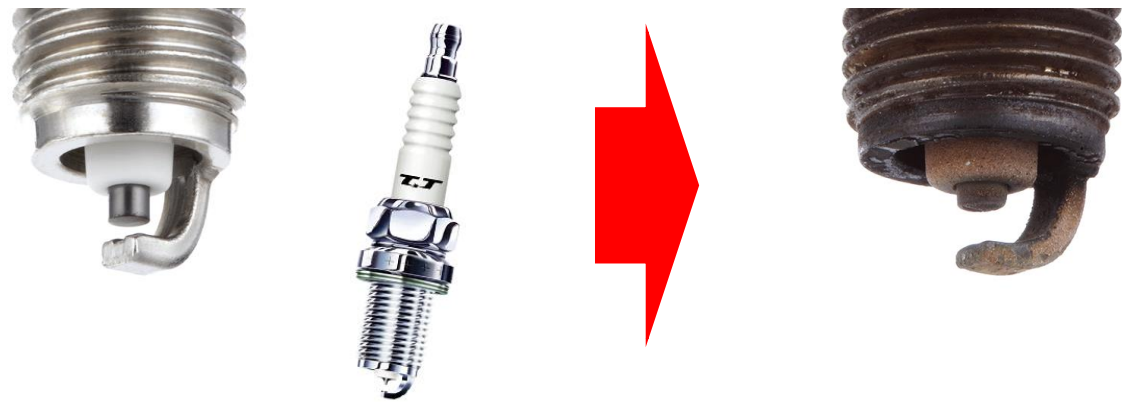


◇スパーク プラグ



スパークプラグは、車のエンジン内で、点火の作業を1分間に何千回も行っていて、非常に負荷がかかっています。スパークプラグは消耗品で、劣化すると火花の飛び方が弱くなり、加速や燃費にも大きな影響が出てしまいます。また、スパークプラグのトラブルでエンジンがかかりにくくなることもあります

因みにスパークプラグの交換時期は走行距離が目安とされており、一般プラグの場合で4輪車15,000～20,000km、軽自動車7,000km～10,000km、白金プラグやイリジウムプラグのような長寿命対応のもので4輪車で100,000kmまでとされています ※プリウス等200,000kmまでの車種もあります

一般的な交換時期がありますが、**あくまで目安になるので、スパークプラグの交換時期の見極めは実際にスパークプラグを目で確認する必要があります**